

別記様式(第4条関係)

会 議 録

会議の名称	第2回加東市商工業振興協議会
開催日時	平成30年8月22日(水) 15時00分から17時05分まで
開催場所	加東市役所3階 301会議室
議長の氏名 (会長 宮崎良平) 出席及び欠席委員の氏名 <出席委員> ・長沼恒雄・村上琢也・金川次男・吉田伊佐見・長谷川妙子・土肥富幸・生頼和也 ・篠原靖尚・藤川憲二 <欠席委員> なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・産業振興部商工観光課長 原田幸広 ・産業振興部商工観光課副課長 藤原 武 ・産業振興部商工観光課係長 松本裕介 ・産業振興部商工観光課主査 上山剛史	
1. 協議事項 商工業振興施策について 2. 会議資料 商工団体における課題に対する取組について 3. 会議の概要、経過 ⇒別紙「加東市商工業振興協議会・会議の概要及び経過」のとおり	
平成 30年 10月 10日 会 長 宮 崎 良 平 副会長 長 沼 恒 雄	

(別紙) 加東市商工業振興協議会・会議の経過

1 開会

2 協議「商工業振興施策について」

事務局から一括説明

【質疑応答等】

○事業計画（案1）就職面接相談会 in 神戸市

○事業計画（案2）インターンシップ支援

委員 神戸市内で就職面接会を開催すれば、多くの学生に地元企業を知ってもらう機会となるため有益だと思う。

委員 他市が実施した神戸市内での面接会の実績はどうだったのか。

事務局 参加者数が少なかったと聞いている。

委員 面接会の開催場所をもっと魅力のある施設にしてはどうか。例えばホテルを活用し、気さくに企業側と話せる空間が提供できればいいのではないかと。

委員 阪神地域での面接会には参加人数はあるが、そこへの参加者が採用につながっているかという点、そうではない。むしろ面接、見学等で加東市（現地）まで来る学生の方が採用につながると思われる。インターンシップには遠方からも学生が参加してくれることもある。

委員 知名度のある企業では学生の参加が見込めるが、知名度の低い企業では参加者の確保に苦慮する。やはり阪神地域での面接会開催は市内企業を周知するよい機会と考える。

委員 酒蔵へのインターンシップには学生が集まっている。酒蔵への就職にならなくても、日本酒という世界に興味を持って参加する学生が多いようである。

委員 インターンシップ参加者募集には就職情報サイトを活用できる。しかし受け入れ企業側には、実習内容の企画運営面や滞在費等の金銭面に負担は少くない。

委員 就職面接会の開催については、まず学生を多く集めることが重要である。市内企業をまず知ってもらわなければ面接に来ることもない。企業の認知度を高めるためには阪神地域で面接会を開催することは意味がある。

委員 播磨地域の有料職業紹介事業者と連携することも検討していいのではないかと。

議長 就職面接会やインターンシップの実施については、有料職業紹介事業者はノウハウを持っているので、取組の連携などを検討されたい。

○事業計画（案3）就職祝金制度

委員 他市工場において同様制度の助成を受給しているが、この制度が直接的に就職・採用へのきっかけ、モチベーションになるかは疑問である。

委員 支給額も1万円と低額であれば、効果は低いのではないかと。

事務局 個人に対し3万円程度支給する自治体もある。

委員 この制度でどれぐらいの予算額を見込んでいるのか。

事務局 採用人数が不明であり、試算できていない。

委員 兵庫県で面接旅費助成として、中小企業が負担する面接選考時の旅費を半額補助する制度がある。これに市が上乗せ補助する方がより効果的ではないかと。

委員 就職祝金よりも、旅費等の企業の経費を補助する方が有益ではないか。
委員 企業の行う採用面接時の旅費は企業負担であり、その助成はありがたい。
議長 就職祝金制度よりも旅費等経費助成について研究いただきたい。

○事業計画（案４）商店街イベントと市イベントとの共催

○事業計画（案５）空き店舗活用支援事業

委員 社おにわ亭の開催について、平成３０年度は県補助を活用し９月、２月に開催予定である。同イベントは新規創業者の発掘もねらいとしているが、社商店街だけでなく社地域全体の活性化を目指し、市の魅力発信のためのイベントとしている。また「まちの拠点づくりコンソーシアム」事業との連携も考えたい。

委員 乾杯まつりにおいては、全国から蔵元がスタッフとして来られるので、市観光関連情報を提供することが重要である。

委員 次年度以降のイベントについて同日開催や連携を検討していく。

議長 社商店街においては店舗が撤去され駐車場が増え、昔の面影が薄れたように見受ける。

委員 空き家等の取壊しによるものと思われる。ここ数年は住宅・アパートの建設に伴う駐車場も増えつつある。まだ門前町として栄えた頃のお庭を有する物件も残っている。魅力ある資源がある街として活性化を期待している。

議長 新たに商業施設地の整備することが必要ではないか。

委員 Ｂｉｏ周辺、社市街化区域におけるまちづくりの全体構想を整理する必要があるのではないかと考える。大きな目標、計画がないと、事業計画もいくら打ち出してもしかたないのではないかと考える。

委員 インフラ整備においてはＢｉｏ周辺から市役所周辺地域における通行動線の整理を併せて検討されたい。

委員 空き店舗活用支援の補助金は商店街以外の空き店舗でも対象とするのか。

事務局 現時点では商店街のみを想定しているが、補助対象者等の詳細については事業化となった場合に改めて協議いただきたい。

委員 空き家を活用するには所有者に働きかけることが重要である。市の現行の空き家支援事業、空き家バンクの啓発も進められたい。

○事業計画（案６）講演会開催

議長 製造業を中心とした人手不足対策として、ＡＩ活用が注目される中、市内事業所においてもＡＩ活用など今後どう対応していくべきか、有識者の声を聞くことも大事かと考える。岐阜県ではＩＴ拠点施設「ソフトピアジャパン」を整備し、政策を進めているようであり、参考にされてはどうか。

委員 講演会と組合せて、ビジネスプランコンテストを企画するのも有益ではないか。市の抱える課題等をテーマとして、ビジネススクール等が提案してくれたものを事業化していけば活性化できるのではないかと考える。賞金も企業協賛でできるのではないかと考える。

委員 講演会は対象が製造業向けになるが、ビジネスプランは対象業種が広がると思われる。

議 長 「兵庫県よろず支援拠点」では中小企業等の経営相談に応じており、様々な支援策の情報提供がしてもらえるので、研究いただきたい。

事務局 次年度に向けては、播磨地域の有料職業紹介事業者と連携による企業面接会又はインターンシップ支援の取組を進めることとする。

具体的内容、予算編成等について協議いただきたく再度会議を設けて欲しい。

3 その他

次回会議日程 10月12日（金）15時～（会場は別途案内）に決定した。

4 閉会